

食品流通中に混入する害虫の 輸送衝撃に対する形態変化の調査

成果の特徴

- 食品の流通中に害虫が混入した際は、さらなる被害を防ぐために昆虫種や発見された経緯などの情報を手掛かりとして予防策を講じることが重要です。
- 食品流通において、特に輸送中に想定される落下衝撃を再現しました。その際に虫体に生じた形態の変化は、落下衝撃と相関関係にあることが明らかになりました。

成果の内容

流通中の落下衝撃を
再現



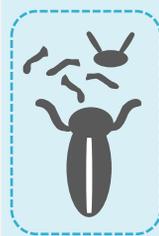
落下試験機

虫体に生じた
形態変化を計測



実体顕微鏡および画像解析
ソフトウェアを使用

衝撃と形態変化の
関係を明らかにした



破損した虫体



流通経路と照らし合わせ
侵入時期の推定へ

成果の活用

食品流通において害虫が発見された場合の、予防策策定に役立つ情報としての利用が期待できます。

関連文献

松元咲樹, 北澤裕明, 永田雅靖, 宮ノ下明大 (2021年2月), 農業施設学会学生・若手研究発表会講演要旨集 p.16